



耐久高等学校PTA会報

ほほえみ

編集発行：耐久高等学校PTA 発行責任者：竹中滋基 発行日：令和3年7月13日

耐久高等学校 <https://www.taikyu-h.wakayama-c.ed.jp/>

入学式 ▼



対面式 ▼



クラスマッチ ▼



No.56



今こそPTAの力で

PTA会長 竹中 滋基

皆様もご協力の程よろしくお願ひします。

ところでPTAを直訳すると、

P (parent・保護者)、
T (teacher・先生方)、
A (association・共通)

の目的を持つ集団)

となります。ここでの



令和3年度よりPTA会長の務めさせて頂きます竹中です。現在3年生の息子がお世話になっております。広川町在住です。評議員1年と昨年本部副会長をさせて頂きPTA活動は3年目になります。本PTAについてはまだまだ分からない事だらけで不安な気持ちで一杯ですが、本部役員の方や評議員の皆様と力を合わせPTA活動に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年度に引き続きコロナ感染予防対策として、今年度総会も書面評決とさせて頂きました。保護者の皆様にはご理解、ご協力いただき有難う御座いました。又、本年度より役員、評議員を引き受けてくださった皆様にも感謝申し上げます。

本年度も、コロナ禍の影響で例年通りの活動が難しい状況にあります。本PTAとしては「コロナだから出来ない」とか、「仕方ない」とか言わないで「どうすれば出来るか」、「こんな事をやってみよう」と学校サイドと協議を重ね、前向きに取り組んでいきたいと思ひます。各部署の皆様にはご苦勞を掛けると思ひますが、保護者の

昨年流行語大賞は「3密」でした。一昨年の流行語大賞は「ONE TEAM」でした。耐久PTAとしては「3者密結」の「3密」とし、この3者がガッツリと手を取り合い、「3者密結・ONE TEAM」でPTA活動に取り組んでいきたいと思ひます。保護者の皆様、先生方、お互い一丸となりこれからの子供達を見守っていきましょう。今後引き続きご協力よろしくお願ひ致します。



三兎を追い求める耐久生

学校長 大西 弘之

梅雨の晴れ間にのぞく青空が目まぶしく、徐々に夏らしさを感じている今日この頃です。令和3年度の1学期は、あつという間に7月を迎えています。昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍での学校生活が余儀なくされています。しかし、今年は4月当初より学校行事においては中止せざるを得なかったものがあるものの授業やクラブ活動は、一部制約がある中で着実に実施することができました。入学式では新たに186名の耐久生を迎えることができました。コロナ禍にあつて、できること、できないことを世の中の状況や動向を見極めながら最適解を求めていく学校運営も2年目を迎えて、学校全体が少し落ち着いているように感じています。

生徒は勉学にクラブ活動、学校行事にと、やや忙しい学校生活を送っているように感じられますが、三兎を追い求め充実した高校生活を追求して欲しいと願っています。このような状況だからこそ、生徒一人一人がしっかりと地に足をつけ、自らの目標の達成に向けて、着実に努力することを願っています。本校は昨年度から、授業研究により一層取り組んでいます。可能な限り「公開授業・研究授業」を実施し、教員の指導方法の工夫・改善に努めています。

日々の教材研究はいうまでもなく、機会を捉えながら積極的に授業を公開しています。今年の1月26日に開かれた中央教育審議会において「令和の日本型学校教育」の構築を目指して「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」(答申)が取りまとめられました。時代や社会が劇的に変わる状況が生じつつある中で、変化し続ける社会状況を見据え、私たちは一人一人の生徒が自らの可能性を伸ばす学びを保障しなければなりません。豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。授業を大切にし質の高い実践ができるよう、今後とも取組の充実を図ってまいります。

さて、今年は高体連・高文連主催の大会行事が実施され、本校生徒の活躍が報告されています。速報値ではありますが総体等の一部を紹介いたします。まず、剣道部が男女ともに団体戦3位に入賞し、個人戦入賞者も含めて近畿大会への出場を決めました。女子個人の部では見事に準優勝を飾り、インターハイ出場(剣道女子の部では昭和57年以来)を決める快挙を打ちました。バドミントン部は女子団体優勝、男子団体3位、女子ダブルス優勝、男子ダブルス3位、女子シングルス優勝、準優勝、男子シングルス準優勝などの

好成績を収め、団体優勝及び個人優勝、準優勝についてはインターハイ出場を決めました。

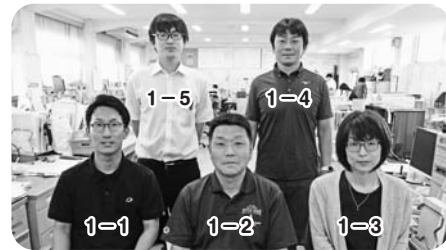
また、全国高校囲碁選手権和歌山大会においては団体戦・個人戦ともに優勝を収め、8月に開かれる全国大会への出場を決めました。陸上競技においては「女子やり投」

「女子1500m」で入賞を果たし、近畿大会出場を決めています。ソフトテニス部においても女子団体が5位入賞で近畿大会への出場を決めました。クラブ活動においては県内外の学校との練習試合や合同練習が規制されている中で、生徒はよく頑張ったと感じています。勉学とクラブ活動、いわゆる「文武両道」に加え、本校では国際理解教育の推進や生徒会行事、学校行事等への積極的な参加を求め「三兎(勉学・クラブ・学校行事)」を追い求める「教育の充実を図っています。こうした全ての教育活動を通して、生徒たちがリーダーシップやコミュニケーション力、協働的な活動の大切さを実感し自らの経験を伸ばし、人として成長することを願っています。今年度は「第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)」が本県で開催されます。本校生徒の無限の可能性を発揮するに相応しい舞台であると感じています。また、本校は来年、創立170周年を迎えます。今後とも、高い品格と活力を備えた耐久生の育成に努め、新たな歴史と伝統を築いてまいります。最後になりますが、保護者の皆様におかれましては本校のさらなる飛躍と発展のために益々のご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。

1学年の指導・取り組みについて

1学年主任 片山 隆博

入学して最初の学年アセンブリーにおいて、「高校生活には自分が成長させるチャンスがたくさんある」ことを伝えました。成長するには、困難を乗り越える経験が必要となります。入学当初の生徒たちの様子を思い返してみれば、慣れない65分授業にはじまり、日々の課題や小テストと悪



山本 歩 (地歴・公民) 酒井 環 (地歴・公民)
中本 裕太 (国語) 角谷 芳史 (保体) 櫻井佳寿美 (英語)

戦苦闘しながらも真摯に向き合っている姿がありました。時には投げ出したくなる日もあったことでしょうが、保護者の皆様のお力添えもあり、入学当初と比べ、生徒たちはたくましく成長を続けてくれています。

今年度の学年目標として、「学習習慣の確立と継続」「基本的な生活習慣の確立」「高校生活を通して、人として成長する」の3つを掲げています。高校生活において、将来の選択肢を広げる意味で学業が重要であることは言うまでもありません。また、挨拶等の礼儀やマナー、自己管理能力は社会では当たり前に求められます。それに加えて、仲間とともに学校行事やクラブ活動に打ち込む時間は、今しか経験できないかけがえのない時間であり、その時間を懸命に過ごすことが、人としての成長に繋がり、生徒たちにとって未来を切り開く原動力になると信じています。

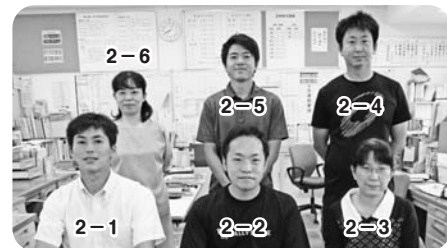
卒業するとき、生徒たちがこの学年の一員として高校生活を送ることができて心から良かったと思えるよう、引き続き私たち教職員一同、生徒たちを支え励ましていく所存です。至らない点も多々あるかと思いますが、今後とも保護者の皆様のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

2学年の指導・取り組みについて

2学年主任 後藤 真吾

コロナ禍の影響が残る中ですが、ここまで生徒・保護者の皆様のご協力により、無事に3ヶ月が過ぎました。

高校2年生は学校の中心となり、自分の人生の軸を作っていく大切な学年です。1年生の見本となりながら、自分たちの「やりたい」にどんな挑戦し



安原美有紀 (数学) 辻井 誠 (理科) 宮崎 智之 (保体)
前山 友佑 (理科) 黒瀬 尊敏 (保体) 三岩 晶子 (英語)

て欲しいと考えています。また、その手助けをしたいというのが私の思いです。

高校は、社会生活や進学先での学びを見据え、生徒が自分の軸を探る場所であり、その軸は多様な体験を通じてこそ見つかるものだと思います。多様な体験を多くするためには、何事もやらされているのではなく、意欲的・主体的に取り組めるようになることが必要です。その上で、自分の「やりたい」を見つけたときにはとことん打ち込んで欲しいと思いますし、教員は一步引きながら見守ることで、生徒が余裕を持ってやりたいことに打ち込めるような環境作りをしていくことが理想だと考えています。

3年生になったとき、納得のいく道を選び、次の一歩を踏み出し、結果を出せるように、また、高校生活の集大成が生徒達の自信や誇りとなるようにどんなやりたいことに挑戦する一年にして欲しいと思います。私たち教員は生徒の「やりたい」を見守りつつ、支えていきます。2年生での多様な体験が、自分の夢・目標への懸け橋となる一年になるように応援しています。

3学年の指導・取り組みについて

3学年主任 湯田 良英

新型コロナウイルスによる昨年度の学校休業、学校再開からの分散登校、そして工夫した形の学校行事の実施など、ここまで生徒・保護者の皆様のご協力により、大きな混乱もなく無事に過ごすことが出来ました。

時のたつのは早いもので、入学して二年が経過し、高校生活最後の一年が始まりました。昨年度の学校休業という異例の状況の下で、不安や焦りを感じながら過ごしてきた生徒たちは、学校再開後は、自分一人ではないということ

を改めて感じたと思います。学校とは、教職員やたくさんの仲間たちが集う生活の中で、自分を成長させることが出来る素晴らしい場所です。感謝の気持ちを持ち、挨拶ができ、当たり前前を当たり前にできる「人」として成長した生徒を見ると頼もしく感じます。

今年度の学年目標は、「進路実現」です。まずは、自分自身で考えて行動し、何事にも意欲的に取り組み、将来の人生に役立つ「何か」を見つけることを目標にしています。焦らず、自分と向き合い、自分の人生を選んでいってほしいと思います。これからの学校生活は、「高校最後の」という言葉がきます。受験勉強やクラブ活動など、「納得のいく終わり方ができて、満足している」と言って締めくくりができた何よりです。保護者の皆様には生徒達の頑張りを見守っていただくようお願いいたします。

私たち教職員は、生徒一人一人の個性を生かし、進路実現に向けて一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



井畑 直樹 (理科) 深渡 直子 (家庭) 岡室奈美希 (国語)
花本 麻冬 (国語) 上田 秀人 (地歴・公民) 岩崎 祐矢 (英語)

高校総体壮行会

―二年越しの総体に向けて、決意新たに―

高校総合体育大会に向けての壮行会が5月18日(火) 中間考査終了後、コロナウィルス感染症予防のため、中庭で行われました。昨年度は例年行われていた大会が中止されたため、二年ぶりの壮行会になりました。密を避けるため、3年生のクラブ員のみがユニフォームに着替えて中庭に整列し、全校生徒が中庭を取り囲むように校舎内やベランダから見守りました。放送演劇部が司会を担当し、合唱部による校歌斉唱から爽やかに始まりました。

校長先生が、ぜひ今回の大会で練習の成果を出せるようにと激励され、クラブ員代表が全校生徒の前で挨拶をしました。周りの生徒たちは、静かに見守りながら拍手を送り、壮行会は温かい雰囲気になりました。最後に生徒会代表川瀬翠優さんが激励の挨拶をし、壮行会は終了しました。

生徒支援部長 石田智美



サッカー部



剣道部

東京医療保健大学 和歌山看護学部学校説明会

―看護希望者、集い、学ぶ―

昨年度本校は、東京医療保健大学和歌山看護学部と教育連携協定を結びました。この締結は、「高大連携を進め、人的・知的資源の交流と活用を図り、相互の教育活動の発展を目指す」ことをねらいとしています。その具体的な取り組みのひとつとして、当大学看護学部の学校説明会が6月9日(木)、本校において行われました。1・3年生で約70名の生徒が集まりました。説明会は、入試制度や大学での学びはもとより看護師としての心構えややりがい、看護専門学校と大学の違いなど、看護系を目指す生徒全般に有意義な講演内容でした。生徒は終始、講演の内容に耳を傾け、必死にメモを取る姿が見られました。

看護を希望する生徒がより強い想いをもって、看護師への一歩を強く踏み出していけるような取り組みを、今後していきたいと考えています。

進路指導部長 辻本恵介



クラブ活動の記録 令和3年度1学期

【体育クラブ】

★陸上競技部

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会」

女子やり投 第2位 寒川七彩(3-1)(近畿大会出場)

女子1500m 第5位 山本実那(3-3)(近畿大会出場)

★ソフトテニス部

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会」

女子団体 第5位 谷 歩香(3-4)久保光希(3-5)三浦佳奈(2-1)

栖井 杏(2-3)杉村陽菜(2-5)最明希香(1-5)

(近畿大会出場)

★バドミントン部

「令和3年度和歌山県総合バドミントン選手権(春季)大会」

一般女子シングルス 第1位 尾原あかり(2-4)

第2位 米舛咲々音(2-1)

第3位 鈴木 絢(1-2)

一般女子ダブルス 第1位 尾原あかり(2-4)・米舛咲々音(2-1)組

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会」

女子団体 第1位 片山若菜(3-4)山下友妃奈(3-2)尾原あかり(2-4)

米舛咲々音(2-1)林 訓子(2-1)藤原みづき(2-2)

鈴木 絢(1-2)(全国大会出場)

男子団体 第3位 大谷英士(3-5)辻岡瑠樹(3-6)松本浩士(3-6)

殿井 翼(3-2)平嶋海翔(2-3)池田隼一(2-2)

竹中裕紀(2-1)

女子シングルス 第1位 尾原あかり(2-4)(全国大会出場)

第2位 米舛咲々音(2-1)(全国大会出場)

男子シングルス 第2位 大谷英士(3-5)(全国大会出場)

女子ダブルス 第1位 尾原あかり(2-4)・米舛咲々音(2-1)組

(全国大会出場)

男子ダブルス 第3位 大谷英士(3-5)・池田隼一(2-2)組

「第76回国民体育大会バドミントン競技和歌山県代表選手選考会」

女子シングルス 第1位 尾原あかり(2-4)

第2位 米舛咲々音(2-1)

第3位 鈴木 絢(1-2)

男子シングルス 第2位 大谷英士(3-5)

第3位 平嶋海翔(2-3)

★剣道部

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会」

男子団体 3位 境 陽生(3-3)榎本千洋(2-2)中尾凌久(2-1)

片山大輔(2-3)箕澤真広(1-4)川口莞永(1-1)

(近畿大会出場)

女子団体 3位 嶋本有沙(3-2)伊集院未帆(3-4)

大上夏子(2-5)上東咲月(2-2)

川口典子(2-5)竹井愛美(1-1)

丸山幸姫(1-5)(近畿大会出場)

男子個人 5位 榎本千洋(2-2)

女子個人 準優勝 大上夏子(2-5)(全国・近畿大会出場)

3位 竹井愛美(1-1)(近畿大会出場)

5位 嶋本有沙(3-2)

★空手道部

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会」

女子団体組手 準優勝 広岡真実(3-4)御前侑奈(3-4)

井上碧久(2-1)豆塚亜依(1-1)

大浦美羽(1-3)

女子個人組手 5位 広岡真実(3-4)

5位 御前侑奈(3-4)

★水上競技部

「令和3年度和歌山県高校総合体育大会(水球)」

男子 準優勝 山中健太郎(3-1)山村竜士(3-2)

岩崎亘希(3-4)宮前春来(3-4)

赤田竜哉(3-5)田中佑磨(3-5)

南村智哉(1-3)佐原一聡(1-5)

(近畿大会出場)

【文化クラブ】

★囲碁・将棋部

「第45回全国高校囲碁選手権和歌山県大会」

男子個人戦 優勝 田中 歩(3-6)(全国大会出場)

男子団体戦 優勝 田中 歩(3-6)小原良輝(3-6)

南 晴起(2-5)(全国大会出場)

校内顕彰

★3年5月第1回全統共通テスト模試

国数英総合 第1位 武田 晃(3-6)

国語 第1位 武田 晃(3-6)

数学 第1位 片山知之(3-6)

英語 第1位 武田 晃(3-6)



文武両道がんばれ!! 保護者からのエール Part12

★空手道部

広岡真実(3-4)
御前智恵(3-4)

小さい頃から一緒に空手道教室に通い、高校では空手道をしないと決めていたのに、他にできるスポーツもなく結局2人で空手道部に入学しましたね。

入学した時は選手が7名、先輩たちとはクラブ活動だけでなく一緒に食事に行き、楽しく過ごせたように思います。先輩たちと話したこと、しんどい練習、私たちに色々話してくれました。勉強とクラブ活動の両立は大変だったと思います。2年生になり後輩が入部し、団体戦に出場することが出来るようになり、全国大会にも出場することが出来ました。昨年は、コロナ禍で試合も少なく、私達も応援に行く機会が少なく残念でした。

小さい頃から試合を観戦し成長していくのを感じ、ずっと応援してきましたが、私達家族にとっても最後の試合となり、寂しく思う気持ちでいっぱいでした。最後の試合、最後まで諦めることなく納得のいく試合をしてください。自分の目標に向かって進んでいくことは、これからの人生でプラスになることだと思います。みんなで応援しています。



★マンドリン部

池永千鶴(3-6)

娘は、先輩のマンドリン部の演奏に惹かれて入部、ギター担当になりました。初めは、全く弾けず苦労しましたが毎日楽しそうでした。一年生の時、初めて演奏会を観て、みんな頑張る娘に感動しました。

一年生から紀の国わかやま総文2021の企画委員、二年生からマンドリン部部長にも選ばれた忙しい毎日ですが、部員の仲間と一緒に一生懸命頑張っています。

新型コロナウイルスで演奏会が中止になり、今春、久しぶりの演奏会を観ました。コントラバスも担当させて頂き、娘の成長を嬉しく思いました。このマンドリン部での経験を将来に活かして欲しいと思います。マンドリン部もわかやま総文に参加するので、無事開催されることを願っています。熱心に指導くださる先生方や関係者の方々に深く感謝申し上げます。



耐久生としての立ち居振る舞い

生徒指導部長 兵衛 和樹

在り方生き方教育の一環として、耐久生としての立ち居振る舞いを身に付ける初期指導を行いました。一年生対象の行事ですが、昨年度二年生は行えていなかったため、午前は二年生、午後は一年生が集団行動やマナーについて学びました。

初めに、男女混合の二列縦隊から二列縦隊、男女別二列縦隊などに素早く隊列を組み直すことや挨拶の練習を行い、学年団やクラス集団でタイミングを揃えました。タイミングを揃え、気持ちを込めた挨拶や隊列移動がピタッと揃った瞬間の迫力など、集団で揃える気持ちよさを全体で共有することが出来ました。

次に、レクリエーションでは、自己紹介を交えたプリントの手渡し方やモノマネジェスチャーゲームなどを行いました。プリントの手渡し方では、相手の自己紹介を聞き両手でプリントを手渡しサインしてもらった。またモノマネジェスチャーゲームでは、仕草だけで相手に伝える。ノンバーバルコミュニケーションで伝えることの難し



2年生

さや、相手の伝えたいことを察してあげるなど、苦勞しながらもお互いがコミュニケーションを楽しみながら行うことが出来ました。

生徒たちは一所懸命な姿勢の中にも、楽しさいっぱいの表情があり、教室で受ける座学とは一味違う雰囲気を楽しみました。現代社会において求められる、「周りの空気を察しながら自分の意見を持ち、お互いを認め合いながら集団と共に歩んでいく」という力。集団の揃った気持ちと個人の意見は、時には相反することもあります。相手や集団の気持ちと自分自身の置かれた状況から一番適切な行動を判断する。高校三年間の集団生活において育みたい重要な要素の一つであると言えます。挨拶やプリントの渡し方で相手に対して気持ちを添える。普段何気ない日常の行動に気持ちを込め、ワンランク上の品格を目指します。耐久高校生なら当たり前に出来る行動、特に「気持ち」の部分を意識して三年間取り組んでもらいたいです。



1年生

教育実習（5月14日～6月4日）

今年、6名の教育実習生が本校にやってきました。「耐久高校」での教育実習について感想を書いてくれました。

今井 夏佑（国語科）

コロナ禍の中で、母校で教育実習を行うことができ、大変有り難く思っております。実習では3年生のクラスにつかせて頂き、古典の授業や自分の受験期の経験を話すことが出来ました。耐久高校の生徒の皆さんは明るく、気さくに話しかけてくれ、また古典の授業では至らない点が多くあったかと思いますが、周囲の先生方の厚いご指導、ご助言を頂くことができて、大変充実した実習期間となりました。本当にありがとうございました。

松尾 幸大（地歴公民科）

今回、二週間という短い実習期間でしたが多くの事を学びました。私自身、人に勉強を教えるという事にとっても驚きを感じています。人に説明するのは難しい事であり、さらに理解してもらわなければいけないと言う事にかなり苦戦しました。授業もですが、生徒ともう少し距離を縮めたかったです。この実習で学んだ事を活かし、今後の課題を見つめ直し精進しようと思います。

山田 聖晃（理科）

まず、3週間指導していただいた先生方をはじめ、コロナ禍にも関わらず実習を受け入れていただいた耐久高校に感謝申し上げます。この3週間は私にとって、経験したことのないほど全てが新鮮で充実した日々となりました。また、将来必ず和歌山県で高校教員として働きたいという思いがより強く持てた実習でもありました。このような思いにさせてくれた生徒には感謝の思いでいっぱいです。これを糧に採用試験頑張ります。

杉谷 萌（情報科）

この度は、このような環境下にも関わらず実習を受け入れてくださり、誠に有難うございました。

した。この実習期間で、沢山の貴重な体験をさせて頂き、私自身大きく成長したように感じます。耐久高校の生徒は、素直で明るい生徒が多く、毎日生徒から元氣や喜びを貰っていました。これからはこの実習で得た学びを活かして精進し、またどこかで出会った際にはさらに成長した姿をお見せできればと思っております。本当に有難うございました。

山下 玄（地歴公民科）

母校である耐久高校で教育実習生として生徒の前に立つというのは、とても新鮮で良い経験になりました。担当の先生をはじめ、多くの先生方にご指導いただき、教師としての心構えや立ち振る舞い、様々な授業方法を知ることができ大変勉強になりました。

また、授業やクラスマッチを通じて生徒と触れ合うことができ、教師という仕事のやりがいを感じる事ができました。二週間お世話になりました。本当にありがとうございました。

瀧本 玲美（保健体育科）

私が通っていた頃の耐久高校の雰囲気と変わらず、素敵な生徒が多かったです。挨拶はもちろんの事、たくさん話しかけてくれ、授業の際も発言するなど、生徒に助けられた面がとても多かったです。また、先生方にも授業見学をはじめ、たくさんのご指導いただき成長することができました。実習を行う前よりも一層、教師になりたい気持ちが強くなりました。私にとつて、本当に充実した3週間でした。ありがとうございました。



今井夏佑(国語) 松尾幸大(地歴公民) 山田聖晃(理科) 杉谷萌(情報) 山下玄(地歴公民) 瀧本玲美(保健体育)

PTA & 学校の活動

月	日	曜日	事業名	場所
4	8	木	会計監査	小会議室4
	8	木	始業式、入学式	体育館
	15	木	新旧本部役員会	応接室
5	13	木	定期総会	書面
	20	木	第1回本部役員会	応接室
	21	金	和歌山県高等学校PTA連合会理事会	書面
	27	木	第1回総務部会	生徒ホール
6	12	土	和歌山県高等学校PTA連合会定期総会	書面
	18	金	第2回総務部会	生徒ホール
	23	水	第1回役員会	体育館
	24	木	教科書選考委員会	応接室
7	1	木	第3回総務部会	生徒ホール
	2	金	3学年懇談会	体育館
	6	火	第1回特別部会	生徒ホール
	9	金	第1回進路部会	応接室
	13	火	PTA会報「ほほえみ」第56号発行	
	20	火	一学期終業式	
	16・20	金・火	三者面談	HR教室
	21	水	本部役員②、各学年長・副学年長、各専門部長・副部長合同会議	生徒ホール
8	24・25	火・水	全国高P連島根大会	松江市 (Web開催)
	25	水	二学期始業式	
9	1	水	芸術鑑賞会	
	3	金	第2回特別部会	生徒ホール
			人権教育地方別研修会(県教委)	
	7	火	第2回進路部会	応接室
	8	水	本部役員③、各学年長・副学年長合同会議	生徒ホール
	14	火	第1回人権健全育成部会	生徒ホール
	16	木	耐久祭(一部授業)	
	17	金	耐久祭	運動場
			1学年懇談会	
			2学年懇談会	
10	30	木	街頭指導・第2回人権健全育成部会	学校校内・校外
	8	金	第4回総務部会	生徒ホール
			PTA進路講演会	
	27	水	第4回本部役員会	応接室
	30	土	(県)高P連指導者研修会	和歌山県JAビル
11	1-4	月-木	「きのくに学び月間」学校開放月間	
	4	木	第2回役員会	
	12	金	第5回総務部会	生徒ホール
	24	水	第3回特別部会	生徒ホール
			(県)高P連第3ブロック指導者研修会	

※今後の活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更になる場合があります。

令和3年度 PTA役員体制

PTA本部役員				◎学年長
学年組	役職名	氏名	専門部	
3-3	会長(新)	竹中 滋基	会長	
3-2	副会長	岡本 光平	進路部	
3-3	副会長	境 淳子	総務部	
3-6	副会長	◎橋本 恵美	人権健全	
2-5	副会長(新)	青石 元希	人権健全	
2-1	副会長	◎井上麻紀子	総務部	
1-1	副会長(新)	岩倉 宏樹	進路部	
1-3	副会長(新)	樫原 淳奈	人権健全	
1-5	副会長(新)	◎佐原 弘記	総務部	
2-4	会計	谷奥 友美	進路部	
	会計	小嶋真理子		
2-5	会計監査	佐原 泰司	特別部	
1-1	会計監査(新)	竹井 聡美	進路部	

専 門 部 別 役 員				◎部長	○副部長
総 務 部					
本部役員		評 議 員			
		1 年	2 年	3 年	
境 淳子 井上麻紀子 佐原 弘記	梅本 千恵(3) ○榎本 章代(4) 九鬼 友美(3)	一角貴美子(5)	岡本 和明(1)		
		采女 浩次(6)	片畑 淳(3)		
		榎本めぐみ(2)	喜多貴美子(5)		
教 職 員	小池 淳子(5) 竹中けい子(5) 森 智子(2)	北山 康子(4)	坂下扶美世(3)		
		新屋 栄美(3)	谷口 薫(3)		
		◎松村 尚彦(6)	松尾 浩一(3)		
白井 敏之 森 千佐子 谷口 友賀 井畑 直樹 岡室奈美希		宮本 夏紀(2)	南畑 喜則(6)		

特 別 部		評 議 員					
本部役員		1 年		2 年		3 年	
竹中 滋基	大崎 康弘(5)	上東 常治(2)	木村 亜湖(5)				
岡本 光平	○清水 恵美(4)	川口 昌浩(1)	玉置 祐子(1)				
境 淳子	下野 弘一(3)	北畑 貴行(3)	松尾 功子(1)				
橋本 恵美	高橋 聡子(5)	佐原 泰司(5)	柳谷 恵里(1)				
青石 元希	則岡 美保(3)	◎中野 尋哉(6)					
井上麻紀子	豆塚 知代(1)	橋本久美子(2)					
谷奥 友美	宮本 貴子(1)	古家 和也(4)					
岩倉 宏樹		米舛由美子(1)					
樫原 淳奈							
佐原 弘記							
教 職 員							
石田 智美							
中南 典子							

進路部		評 議 員		
本部役員		1 年	2 年	3 年
岡本 光平 谷奥 友美 岩倉 宏樹	教 職 員	上田 理絵(1)	上田 隆章(2)	大倉 隆宏(5)
		○榎本久美子(1)	鈴子千賀子(2)	酒井 珠微(2)
		最明 尚美(5)	多々納祐希(5)	則藤 陽子(5)
辻本 恵介 後藤 真吾 片山 隆博		竹井 聡美(1)	◎林 光彦(6)	濱井 勇紀(2)
		花田美由紀(4)		

人権健全育成部		評 議 員		
本部役員		1 年	2 年	3 年
橋本 恵美 青石 元希 樫原 淳奈	教 職 員	金丸かおり(1)	井上 千里(4)	伊集院泰子(4)
		○桑原 秀代(1)	◎中村 司(5)	笠谷 修一(5)
		諏訪 美紀(1)		栗生 千穂(1)
堀江あゆみ(2)	丸山智奈美(5)			鶴岡 千晴(4)
				平岡 友美(4)
兵衛 和樹 湯田 良英				



PTA本部役員

クラスマッチ

3学年 5月24日(月)



高校生活最後のクラスマッチ。コロナウィルスで遠足が中止になって、クラスマッチは出来るのか心配だったが、開催できて良かったです。

競技に出ている人はミスをすればお互いを励まし合い、他の人たちは選手を応援し盛り上げ、クラス一丸となって取り組むことができました。自分たちのクラスが優勝するとは思っていませんでした。「1位は2組と5組」と発表されたときはとてもうれしかったです、全力でやりきって楽しんだという達成感も感じる事ができました。この日はクラスの仲を深めることができた最高の一日でした。

3-5 喜多恭平



1学年 6月15日(火)

